

○主催者挨拶 坂井 学（国家公安委員会委員長）



国家公安委員会委員長の坂井学でございます。「犯罪被害者週間」中央イベントを開催するにあたり、一言御挨拶申し上げます。

本日は講演者やコーディネーター、パネリストの方々を始め、多くの皆様に御出席・御視聴いただきまして、誠にありがとうございます。

また、犯罪被害者等支援に関する標語、「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールの各賞に輝いた皆様、心のこもった作品を出品していただき、誠にありがとうございました。受賞者の皆様、そして御家族の皆様にもお祝い申し上げます。

さて、今年は犯罪被害者等基本法制定から20年の節目の年となります。

これまで、我が国における犯罪被害者等施策は着実に進展してまいりましたが、犯罪の被害に遭われた方やその御家族、御遺族は、今もなお多くの困難を抱えておられる現状がございます。被害者の方々が1日も早く平穏な生活を取り戻すためには、関係府省庁・地方公共団体や支援団体等による途切れのない支援に加え、国民の皆様が、被害者の方々の気持ちを御理解いただき、支援の輪を社会全体で広げていくことが欠かせません。

こうしたことから、政府においては、被害者の方々の置かれている状況や支援の必要性について、国民の皆様理解を深めていただくことを目的として、毎年11月25日から12月1日までを犯罪被害者週間と設定しており、全国で様々な広報啓発事業が行われております。

本年度の中央イベントでは、犯罪でお嬢様を亡くされた御遺族による基調講演のほか、「支援の広がり是一人ひとりの理解と協力から」をテーマとするパネルディスカッションを行うこととしております。

御来場・御視聴されている皆様には、本イベントを通じて、被害者の方々の置かれている状況や支援の必要性について、理解を深めていただくとともに、自分に何ができるか、これを考える機会としていただければ幸いです。

政府といたしましても、関係府省庁や地方公共団体等と連携・協力しながら、被害者の方々の視点に立った施策の一層の推進に取り組んでまいります。

結びに、本年度、犯罪被害者等支援に関する標語として、「寄り添って 周囲でつむぐ 理解の輪」が最優秀作品に輝きました。この標語にありますように、我々国民一人ひとりが被害者の方々に寄り添い、理解の輪を紡ぎ、社会全体で被害者の方々を支えていくという気運が更に高まっていくことを祈念いたしまして、私の挨拶といたします。